

1 単元名 明治の国づくりを進めた人々

2 目 標

- 明治維新をなしとげようとした人々の働きに関心をもち、近代化の様子を進んで追究しようとする。
(関心・意欲・態度)
- 幕末から明治維新にかけての社会の変化や人々の生活の変化について、当時の世界情勢や国内情勢と関連させて考えたり、文章や図を用いて表現したりすることができる。
(思考・判断・表現)
- 各種の資料をもとに、幕末・明治期の混乱や明治政府の政策、人々の生活などを人物の働きと関連づけながら調べることができる。
(技能)
- 幕末から明治期にかけての社会の変化について理解し、明治政府が欧米の制度や文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かる。
(知識・理解)

3 単元設定の理由

① 単元について (教材観)

本単元は学習指導要領の内容(1)のキにあたる。ここでの主な学習内容は、江戸時代末期から明治時代にかけての学習であり、黒船の来校、明治維新、文明開化などを具体的に調べることを通して、当時の日本が欧米の制度や文化を取り入れて様々な改革を行い、近代化を進めたことをとらえることがねらいとなっている。

具体的にはペリーの来航をきっかけとする開国と国内の混乱、大政奉還と倒幕、明治政府の成立と諸改革、欧米の文化や思想について調べる。また時代の中心となった人物たちが何を思い、考え、行動していったのかについて迫るとともに、時代の流れに翻弄されながらも賢明に生きていた多くの士族や民衆に目を向けることも大切であると考え。これらの活動を通して明治時代の人々が欧米の制度や文化を取り入れながら近代的な国家を目指したことに気づくと考える。

また、現在につながる制度や文化があることや、それらは明治時代に生きた人々の努力があったことに気づかせることで、先人や国に対する誇りと愛情がもてるようにしたい。

② 児童の実態 (児童観)

児童の歴史学習に対する意識は高く、自分で歴史の本を購入したり、人物達の思いを積極的に考えようとする児童も見られる。しかし、既習事項をもとに自分の意見をまとめることにはまだまだ不慣れであり、また話し合い活動において、学級全体の中で自分の意見を言うことに苦手意識をもつ児童が多い。

児童は今までの学習を通して根拠をもって学級全体の中で話し合う活動を行ってきた。ノートや資料を振り返ったり、メモをとったりしながら話し合いに取り組んできたことで、最初に自分の意見をもつことや、既習事項や友達の考えと関連・比較させながら考えることの必要性がわかってきている。また、歴史で学習したことを現在の自分達の生活に引き寄せて考えることができる児童も増えてきた。

③ 指導について (指導観)

本単元では、急激な時代の変化の中で人々が何を思い、考え、行動していったのかを考えることを通して、日本が欧米の文化や制度を取り入れながら改革を進めることで、豊かで強い日本を目指したことや、明治期に取り入れられた制度や文化が現在にも受け継がれていることをつかむことがねらいである。

はじめに、江戸時代と明治時代の生活の様子が描かれた資料を比較し、生活の様子の違うところや変化した理由について問いかけることで関心を高めていく。課題の追究においては、ペリーの来航、明治維新、文明開化などが分かる資料を活用することで、当時の国際社会や日本国内の状況、明治政府の方針や改革の内容、明治時代に取り入れられた欧米の思想や文化などと、それらにかかわった人々の思いがつかめるようにする。その際、課題に応じて基本となるグループと共通の課題を追究するグループを使い分け、より多くの仲間と教え合いによって学習していく。調べたことを基本となるグループ内で共通理解するとともに、話し合いを充実させることで、新たな疑問や、自分とは違う見方や考え方に気づかせたい。また、学級全体の中での発表、自由な意見交換など、話し合いの場や形態を学習内容に応じて使い分け、より多くの意見に触れるとともに自らの意見も発信できるようにしていくことで、お互いが考えを深め、ねらいにせまれるようにしていく。このような活動を通して、児童が調べ方や学習の仕方を学び合ったり、それぞれの考えを深め合ったりできると考えた。

学習を通して調べたり、考えたりしたことは、課題に応じたカラー付箋に記入し、学習カードに再構築していくことで、単元の内容を整理しながら学習を進められるようにする。その際、学習の振り返りを通して、自分の考えの深まりに気づき、相手の考えを受けて、自分の考えを学級全体の中で自信をもって表現できるようにするとともに、自分と歴史とのつながりや現在の日本に対しても思いを馳せられるようにしたい。

<p>みえる わかる</p>	<p>「黒船の来航により植民地にならないために新しい国づくりが大切である」と考える人々が増え、欧米の文化や制度を取り入れながら改革を進めることで、豊かで強い日本を目指したのだな。</p>					
<p>考える</p>	<p>明治維新を進めたのは、どのような人々のどのような思いだったのだろう。</p> <p style="text-align: right;">①～③</p>	<p>世の中のしくみや人々の生活はどのように変化していったのだろう。</p> <p style="text-align: right;">④⑤</p>	<p>通久保利たちはどのよ国を目指したのだろう。</p> <p style="text-align: right;">⑥</p>			
<p>見える・分かる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペリーが軍艦を率いて来航したこと ペリーの強行な開国要求に押されて幕府は開国し、鎖国が終わったこと 欧米と不平等条約が結ばれたこと 	<ul style="list-style-type: none"> 物価の上昇よりの世の中に幕府への不満が高まったこと 欧米の力を知り、幕府の政治や日本の将来への危機感が高まったこと 幕府を倒し、新しい政治を始めようと立ち上がった武士達がい 	<ul style="list-style-type: none"> 徳川慶喜が大政奉還をし、政権を朝廷に返した 成立した明治政府側と幕府側で戦いがあつた 明治天皇の名前で五箇条の御誓文が出された 西郷隆盛と勝海舟の話し合いで、江戸城が無血開城した 	<ul style="list-style-type: none"> 明治政府は廃藩置県、四民平等の改革を行った 明治政府が欧米の文化や制度を取り入れ改革を行った (地租改正、徴兵令、殖産興業政策) 明治政府の政策に対し、不満を感じる人々もいた 	<ul style="list-style-type: none"> 福沢諭吉が「学問のすすめ」を発表し、世の中に新しい考え方が広まった 学制を定め、国民が学校に通えるしくみをつくった 郵便制度を整え、鉄道を敷いた 欧米の文化が取り入れられ、人々の生活や考え方が変化していった (衣服、頭髮、建物、新聞、電話、太陽暦) 	
<p>学習材</p>	<p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>寺子屋と明治時代の小学校の様子 江戸時代と明治時代の日本橋の様子 明治時代の世界地図 ペリー来航時の狂歌 ペリー上陸の錦絵 ペリーの肖像画 日米和親条約、日米修好通称条約 開港された港がわかる地図 江戸時代の海外との窓口</p>	<p>○○○</p> <p>物価上昇のグラフ 薩英戦争、下関砲撃 坂本龍馬、西郷隆盛、大久保利通 木戸孝允の肖像画、略歴</p>	<p>○○○○○</p> <p>大政奉還の図 戊辰戦争の図 五箇条の御誓文 江戸城開城の図 江戸城入場の図</p>	<p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>岩倉大使欧米派遣の図 大久保利通の略歴 藩の教や県数を示した資料 江戸時代、明治時代の人口の割合 年貢と地租改正条例 徴兵令と血税一揆 お雇い外国人 江戸時代、明治時代の産業地図</p>	<p>○○○○○</p> <p>福沢諭吉の肖像画、略歴 学問のすすめ 武士の商法 学制、鉄道開通、郵便の資料 生活の西洋化 (衣服、頭髮、建物、新聞、太陽暦、電話)</p>	

5 評価規準

- 明治維新をなしとげようとした人々の働きに関心をもち、近代化の様子を進んで追究しようとしている。(関心・意欲・態度)
- 幕末から明治維新にかけての社会の変化や人々の生活の変化について、当時の世界情勢や国内情勢と関連させて考えたり、文章や図を用いて表現したりしている。(思考・判断・表現)
- 各種の資料をもとに、幕末・明治期の混乱や明治政府の政策、人々の生活などを人物の働きと関連づけながら調べている。(技能)
- 幕末から明治期にかけての社会の変化について理解し、明治政府が欧米の制度や文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かっている。(知識・理解)

6 単元の指導と評価の計画 (6時間)

(①・②は時数, ◇は評価)

①	<p>○ 江戸時代と明治時代の絵を比べてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室や子どもの様子の違い ・ 教科書の違い ・ 服装や髪型の違い ・ 乗り物の違い ・ 建物の違い ・ どうしてこんなに変わってしまったのだろうか。 ・ 明治になって他に変わったことはないかな。 ・ 武士はいなくなってしまったのだろうか。 ・ 明治になってどんな人物が登場するのだろうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>明治維新ではどのような人たちがどのような願いや思いで、国のしくみや社会を変えていったのだろうか。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 江戸時代と明治時代の生活の変化の様子について関心をもち、課題をもつことができている。(関・意・態)</p> </div>
②	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>明治維新を進めたのは、どのような人々のどのような思いだったのだろうか。</p> </div> <p>○ ペリーの来航と開国にともなう世の中の動きや人々の思いについて調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペリーの来航と開国 ・ 物価の上昇と人々の不満 ・ 西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允と外国の力を知った戦い ・ 坂本竜馬と倒幕の動きの高まり ・ 徳川慶喜と大政奉還 ・ 政府側と幕府側の戦い ・ 勝海舟、西郷隆盛と江戸城無血開城 ・ 明治天皇、木戸孝允と五箇条の御誓文 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ ペリーの開国の要求により幕府が不平等な条約を結んだことを理解している。(知・理)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 開国による世の中の動きや、坂本竜馬、西郷隆盛、木戸孝允などの業績や思いを調べることができている。(技)</p> </div>
④	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>世の中のしくみや人々の生活はどのように変化したのだろうか。</p> </div> <p>○ 明治政府の政策や世の中の変化、新しい世の中をつくった人々の思いについて調べ、分かったことを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大久保利通 ・ 当時の人々の反応 ・ 廃藩置県 ・ 四民平等 ・ 地租改正 ・ 徴兵令 ・ 殖産興業政策 ・ 福沢諭吉 ・ 学問のすすめ ・ 学制 ・ 鉄道 ・ 郵便 ・ 西洋文明 <p>○ 分かったことをまとめ、明治政府の目指した国の姿について自分の考えを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米から進んで学び、今までとは違う新しい国にしたかった。 ・ 徴兵令や殖産興業政策から、富国強兵を進めたかった。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 明治政府の政策や文明開化による世の中の変化、新しい世の中をつくった人々の思いについて調べることができている。(技)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 明治政府の行った政策や文明開化によって世の中の様子が変化したことが分かっている。(知・理)</p> </div>
⑥ 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>大久保利通たちはどのような国を目指したのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民が協力し合う国を目指した。そのため武士たちの特権を奪うことになっても四民平等を進めた。 ・ 豊かな国にするために欧米の技術を取り入れたり、指導者を呼んだりして工業を盛んにした。 ・ 欧米の制度や文化を取り入れつつ、欧米と対等に付き合える強く豊かな国を目指した。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 明治政府の人々の目指した国の姿について考え、自分の言葉で表現することができている。(思・判・表)</p> </div>

7 本時の指導

(1) 目 標

明治維新や文明開花の内容と、それにかかわった人々の働きや思いについて振り返り、大久保利通ら明治政府の人々が目指した日本の姿について考え、表現することができる。

(2) 授業課題

学習の積み重ねを学習カードや掲示物で振り返り、学級全体での話し合いによって多様な意見を交換し合えば、自分の考えが深まり、明治政府の人々が目指した国の姿に気づくことができるであろう。

(3) 展 開

学習内容・活動	児童への働きかけ・評価
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p> <p>大久保利通たちは、どのような国を目指したのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新や文明開化の内容と、それにかかわった人々の働きや思いを掲示資料や学習カードで確認し、本時のねらいにせまれるようにする。
<p>2 大久保利通ら明治政府の人々の目指した国の姿について学級全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧米のように自由で平等な国です。大久保は仲間だった武士たちの特権を奪うことになっても、四民平等を進めたからです。 欧米に負けない強い国です。徴兵令で軍隊をつくったし、ペリー来航や薩英戦争の経験から、日本を守れるようにしたかったのだと思います。 強さだけでなく豊かな国であることも目指したと思います。大久保は工業を盛んにするために欧米の技術を取り入れたり、指導者を呼んだりしたからです。 海外視察の経験から日本にも欧米のように進んだ工場をつくり、豊かな国にしたかったのだと思います。 私も強く豊かな国です。大久保は幼馴染の西郷隆盛と対立してでもまず富国強兵を進めたからです。 欧米と対等に付き合える国です。工業や軍事だけでなく文化でも欧米に追い付くため、政府は積極的に西洋文明を広めたからです。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の話し合いを通してより考えが深まるように、前時までの自分の意見を学習カードで確認させる。 明治政府の人々が目指したのはどのような国なのかということを確認にして、活動1で確認した人々の働きや思いを根拠として話すよう助言し、児童がお互いの意見を比較・関連させながら話し合うことができるようにする。 友達の意見を聞きメモをとることで、前時までの自分の意見と比較・関連させながら考えを深め、話し合いや活動3にいかせるようにする。 考えが深まるよう、自分の意見に変化やつけたしがあった場合もメモをとるように助言する。 特に話し合いを深めたい部分では、児童の意見に対する切り返しや、席の近い児童同士での話し合いも取り入れ、児童同士が考えを引き出し合えるようにする。
<p>3 明治政府の目指した国の姿について自分の意見をまとめて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧米の政治の仕組みや文化をお手本にして改革を進め、日本を欧米のように進んだ国にしようとしたのだと思う。 欧米の制度や文化を取り入れつつ、欧米と対等に付き合える強く豊かな国を目指したのだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のメモを前時までの意見と見比べながら自分の考えに新たに加わった視点やキーワードの部分に線を引かせることで、前時までの意見と比較しながら本時の意見をまとめられるようにする。 ㊦ 明治政府が欧米の制度や文化を取り入れ、欧米と対等に付き合える強く豊かな国を目指したとに気づき、自分の言葉で表現することができる。 (思考・判断・表現：学習カード・発表) まとめた本時の意見は前時までの意見や本時のメモと並べて学習カードに貼らせることで、考えの変化や深まりに気づくことができるようにする。